

み　　ら　　い
代　表　質　問

議会事務局
処　理　欄

令和5年5月16日　14時43分　受付
質　問　順　位　第　2　番

武豊町議会議長　青木　信哉　殿

武豊町議会議員　福本　貴久

一　般　質　問　の　通　告　に　つ　い　て

令和5年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質　問　事　項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1.人口減少を食い止めるため「住みよいから、住みたいまちへ」選ばれる武豊町になるために	【趣旨説明】 今年の4月26日に厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が発表した、2020年の国勢調査の総人口1億2615万人が、この50年後の2070年には、総人口が2020年の国勢調査時点から7割に減少し、3915万人マイナスの8700万人まで減少すると発表した。そして65歳以上の人口は、およそ4割になると予測されている。これを単純に武豊町の国勢調査データに当てはめると、2020年は、43535人。50年後の2070年に7割に減少したと仮定すると約30500人、65歳以上の高齢者は約12200人になる。これは人口問題研究所が発表した「日本の将来推計人口」の結果の概要で示された割合に、単純に当てはめただけであるが、このまま何も手を打たずにいたとするならば、大きく人口は減少し、ますます高齢化が進んで行くであろうことは、火を見るより明らかではないだろうか。そして5月4日に総務省が「こどもの日」にちなんで発表した、4月1日時点での15歳未満の子ども数は昨年より30万人減少の1435万人と発表し、1982年から42年連続の減少となっている。 そこで本町では、大きく人口を減少させないために、2060年まで人口40000人を維持することを目標に掲げた「武豊人口ビジョン」を実現するため「武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、改定をしながら取り組みを現在も進めている。 また民間の調査ではあるが「住み続けたい自治体ランキング愛知県版」において、2021年・2022年の調査では、愛知県内69の市区町村の中で、武豊町は2年連続で3位という結果が出されており、大変喜ばしい評価で、現在本町在住の方々は概ね「住み続けたい」「このまま住んでいても良いな」ということであり「住みよい」と感じて頂いている評価だと思われる。しかしこの良い評価を2年間だけではなく、今後も継続し、先ほど紹介した「日本の将来推計人口」の値に近づかないように、本町の掲げた人口ビジョンを実現するため、着実に取り組んでいかななくてはならない。それには、今武豊町に住んで頂いている町民の方々には、引き続き武豊町で住んで頂き、さらに町外の方々に「武豊町に移り住みたい」と実感して頂き、武豊町が定住・移住先に選ばれるまちになることこそが、糺山町長が第6次武豊町総合計画の施策方針のひとつに掲げられている「住みよいから、住みたいまちへ」につながると考える。 そこで、以下質問する。

【質問事項】

武豊町が「住みたいまち」に選択されることにより、在住者は武豊町に住み続け、そして町外から移り住む方が増えれば、本町の人口は自ずと増える。それには本町独自の魅力ある事業や施策が必要であるが、現在実施されている事業や今後計画されている施策で、本町を「住みたいまち」に選択して頂けるためのセールスポイントや優れている点を伺う。

- ①総務部所管のセールスポイントなど何か。
- ②企画部所管のセールスポイントなど何か。
- ③健康福祉部所管のセールスポイントなど何か。
- ④生活経済部所管のセールスポイントなど何か。
- ⑤建設部所管のセールスポイントなど何か。
- ⑥教育委員会所管のセールスポイントなど何か。
- ⑦総合的なセールスポイントなど何か。
- ⑧今答弁された内容を町内外の方々にホームページや SNS などを使い、わかりやすく積極的に PR をし、認知して頂く必要がある。どのように対応して行くのか。